

## はじめに

最近の英語学習において、「思考力・判断力・表現力」という言葉がよく聞かれるようになり、その力を試す問題が実際に大学入試においても増えています。「思考力・判断力・表現力」を持っているとはどういうことでしょうか。それは、単に英単語をたくさん知っていて文法や構文などの知識を持っているというだけではなく、「得た情報をもとに自分で考え、自分で判断し、自分なりに表現する力」を持っているということです。そのような力を身につけるためには、従来の英単語学習や英文法学習に加え、英文を読んで得た情報から自分で判断・推測したり、グラフなどで与えられた情報について自分なりの意見を述べたりするといったような練習をする必要があります。

また、「技能統合」という言葉もよく耳にするでしょう。これは、英語学習において「読む力、書く力、聞く力、話す力」を総合的に身につけるといことです。最近の大学入試でも、これらの力を個別に試すのではなく、「読む力+書く力」を試す問題、「聞く力+書く力」を試す問題といったように、4つの技能のうちの複数を試そうとする「技能統合問題」が増えつつあります。このような問題に対しては、演習の量を増やして少しずつ慣れてゆく必要があります。

『真・英語力トレーナー』は、このような状況を踏まえ、「思考力・判断力・表現力」および、「技能統合問題に対応する力」を養成するために、皆さんにとって絶好の練習素材となるよう構成されています。本書を通して、皆さんが変わりゆく大学入試英語に対応できる力を身につけ、志望する大学に合格されることを切に願っています。

*A journey of a thousand miles must start with the first step.*

「千里の道も一歩から」

著者一同

## 『真・英語力トレーナー』でどのような力を養成できるのか

『真・英語力トレーナー』は、全3巻からなります。すべてオリジナルの英文を用いています。第1巻（本書）は、「思考力・判断力・表現力」および「技能統合問題に対応する力」の土台を築く基本編です。大学入試を考えている高校1年生～2年生は、まずこの第1巻・基本編から取り組むとよいでしょう。

第2、3巻（近刊）は応用編で、「思考力・判断力・表現力」を試す問題を扱い、さらに「4技能（読む力・書く力・聞く力・話す力）」のうちの複数を試す「技能統合問題」も扱います。それらの演習問題に取り組むことで、実際の入試に対応できる実戦力を養います。入試を間近に控えた高校2年生～3年生に適しています。

### 第1巻・基本編の構成

本書（第1巻・基本編）は「導入・演習問題パート」（本冊）と「解答・解説パート」（別冊）で構成されています。

#### ◆「導入・演習問題パート」

**STEP 1～3**で構成されています。各**STEP**とも**Reading**と**Writing**を中心に扱います。**STEP 1, 2**の冒頭では導入として、その**STEP**でどのような力を養成するのかを説明しています。それを読んで、着眼点を明確にしてから**演習問題**に取り組みます。

**演習問題のReading**に取り組む際には、まず**重要表現リスト**をしっかりと頭に入れて取り組むとよいでしょう。語いや表現に自信のある人は、**重要表現リスト**を参考にせず、自分の力で読み進めても構いません。

**演習問題のWriting**は、図表やイラストの説明をしたり、指定された条件の中で自分の考えを自由に述べたりする、いわゆる「自由英作文」が中心です。**Writing**には、その問題に取り組む際に参考にできる表現として、**Useful Expressions**を掲載しています。**重要表現リスト**と同様に、語いや表現に自信のある人は、**Useful Expressions**を参考にせず、自分の力で英作文に取り組んでください。

「導入・演習問題パート」の最後に、**Review**を掲載しています。**Review**は**Reading**で使用した英文を再収録したものです。問題の復習や、後述の音読練習の際に活用してください。**Review**にはスラッシュ (/) なしの英文 (**Review ①**) とスラッシュを入れた英文 (**Review ②**) を掲載しています。スラッシュを入れた英文は音読練習の際に活用します。詳しくはp.064の「音読練習の方法・効果について」を参照してください。

#### ◆「解答・解説パート」

「演習問題」の解答・解説は、別冊の「解答・解説パート」に掲載されています。**Reading**については、**解答** → **設問解説** → **全訳** の順に、**Writing**については、**解答例** → **設問解説** の順に掲載されています。

### ◆ Reading 問題の音源について

Reading で扱った英文については、英語のネイティブ・スピーカーによる読み上げ音声を用意されています。その音源はパソコンでダウンロードすることができます。

Review ①、および、スラッシュ付きの Review ②とともに、音読練習の補助教材として、ぜひ活用してください。「音声のダウンロードの方法」と「音読練習の方法・効果について」は、p.063～065 を参照してください。

#### 略号・記号一覧

*do* : 動詞の原形

to *do* : 不定詞

*doing* : 動名詞あるいは現在分詞

*done* : 過去分詞

A/B : 名詞

X/Y : 任意の文法的に対等な要素

*one* : 任意の人を表す名詞・代名詞

( ) : 省略することができる語句

[ ] : 言い換えることができる語句

## 目次

<b>STEP 1</b> 明示された情報の読み取りと処理 .....	007
演習問題	
Reading .....	012
Writing .....	020
<b>STEP 2</b> 明示されていない情報の推測と処理 .....	022
演習問題	
Reading .....	024
Writing .....	034
<b>STEP 3</b> 総合演習 .....	036
演習問題	
Reading .....	036
Writing .....	060
音声のダウンロードの方法 .....	063
音読練習の方法・効果について .....	064
Review ① .....	066
Review ② .....	082

■ナレーション Bianca Allen, Chris Koprowski

■録音 株式会社ブレンズ ギア

## 音読練習の方法・効果について

音読練習は、必ず Reading の問題に取り組んだ後で行ってください。まったく見たことのない英文を音読練習しても期待する効果は得られません。

### ◆音読練習の方法

1. Reading の問題に取り組んで、解答・解説を読み、内容や表現をしっかりと把握した上で、Review ①の英文を見ながら音声を再生し、一緒に声に出して読んでみましょう。
2. 音声を再生しながら、同じ英文を繰り返し音読練習します。Review ①の英文を見ながら構いません。ネイティブ・スピーカーが読むスピードですらすらと読めるようになることが第1の目標です。この練習は、1日1回ずつ、トータルで5回程度行うと効果的です。
3. ネイティブ・スピーカーが読む速度で音読できるようになったら、Review ②を利用して「追いかけて読む」練習をします。Review ②の音声は、英文のスラッシュのところで無音のスペースが入っています。「スラッシュまでの音声再生」→「(無音のスペースの間に)再生された部分の音読」という繰り返しで「追いかけて読む」練習を行ってください。これは Review ②を見ながら構いませんが、慣れてきたら英文を見ないで耳だけで音声を聞いて、その部分を「追いかけて読む」とよいでしょう。この練習も1日1回ずつ、トータルで5回程度行うと効果的です。

### ◆音読練習の効果

音読練習をするとさまざまな効果が得られます。耳が鍛えられることで、ネイティブ・スピーカーの発する音に対する違和感が少なくなりますので、リスニング問題を解く力のある程度向上させることにつながります。しかし、最も効果が見られるのは、Reading の力の向上、特に次の3点です。

#### ① 黙読の速度が上がる

まず、英文を黙読する速度が上がります。言語、特に母語ではない言語については、ほとんどの学習者が黙読の際に、頭の中で音声再生しながら文を読み進めています。実は、ある程度の難度の英文を読む場合、その英文を読む速度には限界があり、その限界は、自分がその英文を音読できる速度だと言われています。つまり、黙読の速度が音読の速度を超えることはないのです。母語でない言語を学習する者にとっては、音読の速度がネイティブ・スピーカーの音読の速度を超えることはないでしょう。したがって、音読をネイティブ・スピーカー並みの速度で自然に行うことができれば、その英文を黙読する速度を限界まで上げることができる、というわけです。

#### ② 英文を左から右へと自然に読めるようになる

次に考えられる効果は、英文を、それが書かれた順で、つまり左から右へと理解して読めるようになるということです。母語でない言語を学習する者にとって、特に英語を学習する日本人にとっては、英文を読む作業は、行ったり戻ったりの繰り返しとなってしまうことが多いでしょう。これはある程度は仕方ないのですが、どうしても文を読む